MITSUBISHI

9705R870HK2201

ハイキャッチ形レンジフードファン（水平分散形自然給気タイプ）

形名
V-60FDQ

ハイキャッチ形レンジフードファン（水平分散形自然給気タイプ）
〈換気ユニットレンジ用フードファン〉

形名
V-60FDQ-BL

優良住宅部品「BL」認定
（BL規格自然給排気型Ⅱ型）

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの取付工事説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(内装材の制限、可燃物との距離の制限など)がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
■接続ダクトはφ150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

⃠	禁　止	❗	指示に従い必ず行う
	分解禁止		アース線接続
	水ぬれ禁止		電源プラグを抜く
	感電注意		高温注意
⚠	注意をあらわす		

⚠警告

- ●交流100V以外では使用しないでください。
  （火災や感電の原因になります）
- ●直接水がかかる場所や湿気の多い場所には取付けないでください。
  （感電および故障の原因となります）
- ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。（火災・感電・けがの原因になります）
- ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合や本体を取付ける場合、金属製ダクトや本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。（漏電した場合発火することがあります）
- ●アースを確実に取付けてください。
  （故障や漏電のときに感電することがあります）
- ●ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切ってください。
  （感電することがあります）

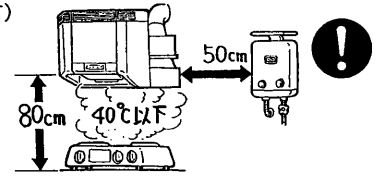
⚠注意

- ●指定以外のランプを使用しないでください。
  （ランプ周辺が高温になり、やけどをする恐れがあります）
- ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
  （落下によりけがをすることがあります）
- ●部品の取付けは確実に行ってください。
  （落下によりけがをする恐れがあります）
- ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
  （接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）
- ●取付けの際は必ず手袋を着用してください。
  （けがをすることがあります）

お願い

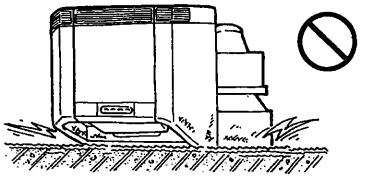
周囲温度が40℃以下になるよう下図の寸法を守る

（本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です）



（軸受けの焼付き、排気ガスによる塗装面のサビ発生となります）

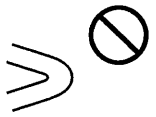
直接コンクリートなど、傷のつきやすいもののうえには置かない



ダクト工事

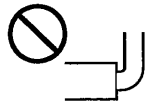
- ●ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけ、先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。
- ●給気ダクトと排気ダクトの先端は排気が給気に混ざらないような位置に設けてください。
- ●給気ダクトには、結露防止のため断熱処理を行ってください。
- ●次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

●極端な曲げ

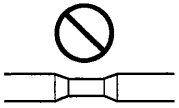


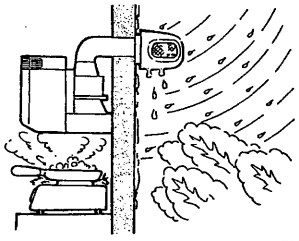
●多数の曲げ
（曲げ数が多くなれば風量低下します）

●吐出口のすぐそばでの曲げ



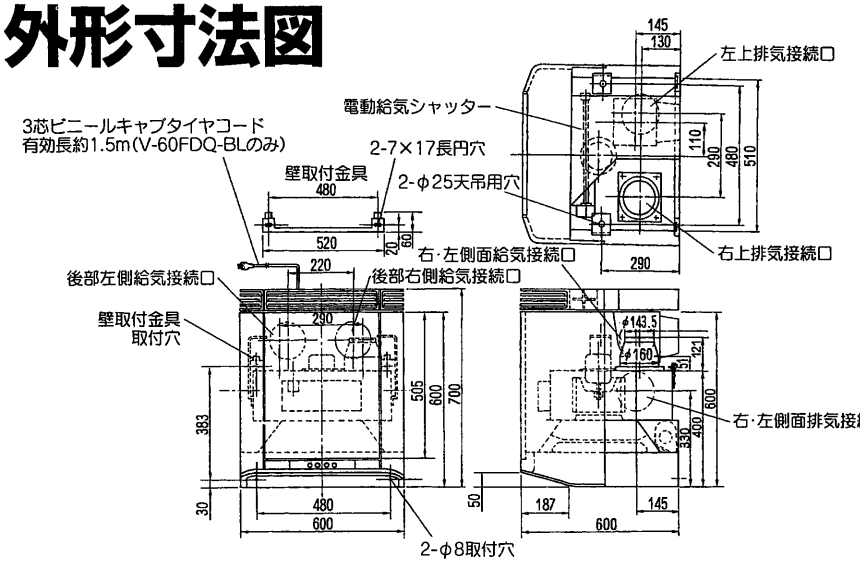
●しぼり
（接続ダクト径を極端に小さくする）





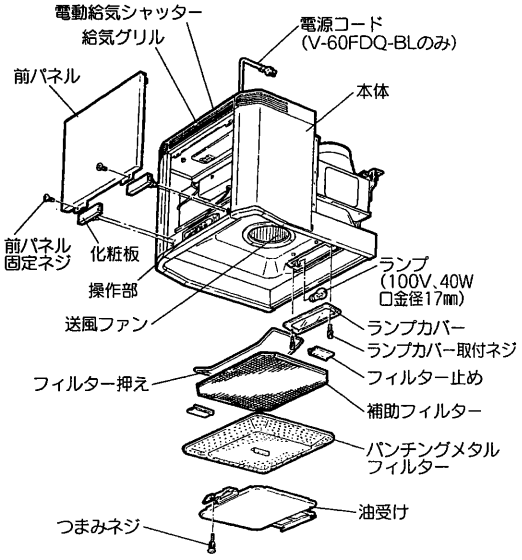
ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります。
鳥などの侵入防止にベントキャップ、雨水の浸入防止に深形フードなど、また吹き上げが強いところには耐外風高性能フードをおすすめします。

外形寸法図



単位(mm)

各部のなまえ



付属部品

●下記の付属部品があります。

カバー……1個	ネジ(カバー用)…4本	壁取付金具……1個
特殊ワッシャー…4個	ゴムワッシャー…4個	木ネジ……4本 (小2本 大2本)
木ネジ用ワッシャー…4個 (小2個 大2個)	パッキン……2個	ランプ……1個 (40W 口金径17㎜)
つまみネジ……4本	給排気アタッチメント…1個	給排気アタッチメント取付ネジ……2本

取付方法

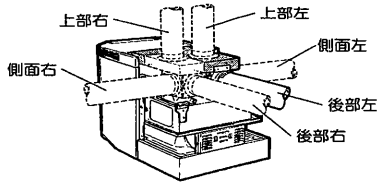
本体の取付けには、天井取付けと壁取付けがあります。

この製品は排気方向、給気方向を後・上・左・右と自由に選択することができます。

給・排気方向の選択

給気方向の選択

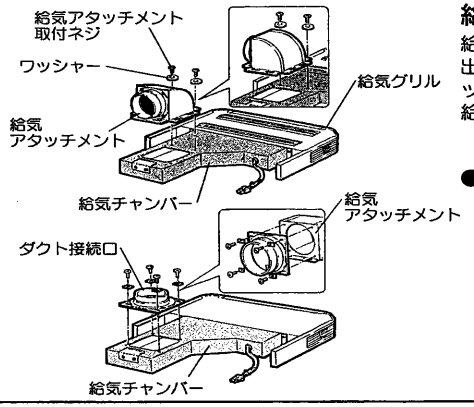
1



給気方向を決めます。

この製品の給気口は上部に左右、側面に左右、後部に左右あります。使用する給気口を選択します。

2

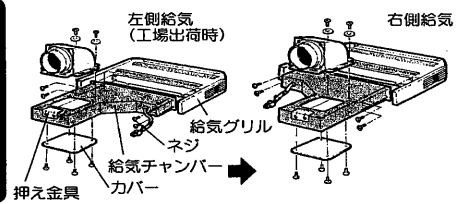


給気アタッチメントを取付けます。

給気グリルを裏返して、給気アタッチメントを取出し方向(後部・左・右)に合わせて付属の給気アタッチメント取付ネジ(2本)とワッシャー(2個)で給気チャンバーに取付けます。

●上部給気の場合は給気アタッチメントからダクト接続口をはずして、給気チャンバーに取付けます。

3

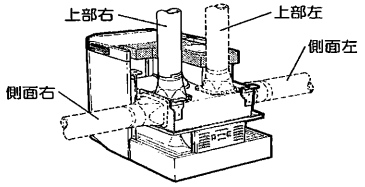


右側の上部・側面・後部給気の場合は給気チャンバーをはずして、左右付け換えます。

(1) ネジ4本をはずし給気チャンバーを給気グリルより取りはずします。
(2) 給気チャンバーのカバーを上・下付け直します。
(3) 押え金具を上・下取付け直します。

排気方向の選択

1

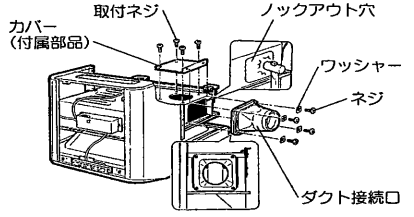


排気方向を決めます。

この製品の排気口は上部に左右、側面に左右あります。使用する排気口を選択します。

●ダクト接続口に同梱しているランプを取りはずします。

2



使用しない排気口には付属のカバーをします。

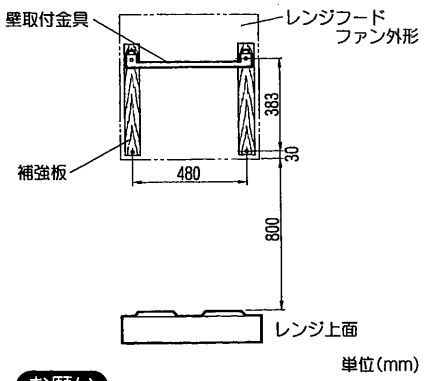
(1) 側面排気口を使用する場合はノックアウト穴を打ち抜きます。
(2) 使用しない排気口には付属のカバーを取付ネジ4本にて取付けてください。

●側面左排気の場合はカバーの付換えが必要です。

取付方法 つづき

―取付け前の準備

1



単位(mm)

ダクト配管・取付壁による準備をします。

板張りの場合

●板厚20mm以上の場合は直接壁に取付けてください。
20mm以下の場合は20mm以上になるよう補強板を取付けてください。

コンクリート、タイル、土壁の場合

●新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込んでください。
●既築の場合はコンクリートビスなどを利用するか補強板を固定して取付けてください。

メモ

●既築の住宅では、補強板が壁面より露出することになりますのでレンジフードファンは壁に密着しません。
従って後部給・排気の場合ダクト配管は露出寸法だけ長くしてください。

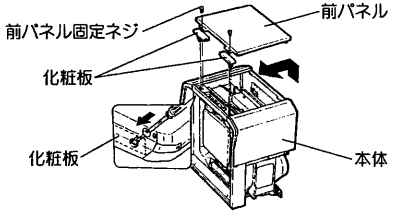
お願い

●新築・既築により準備が異なりますがいずれの場合も十分強度をもたせてください。

ダクト配管

●壁穴をあけてその中にφ150のダクト(鋼板管・スパイラルダクト)を配管し、その周囲の仕上げを行ってください。

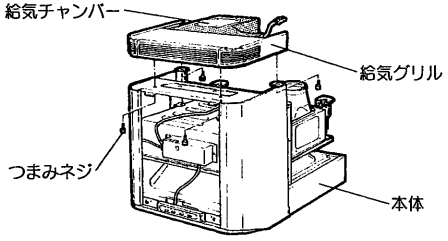
2



前パネルをはずします。

(1) 本体内側からドライバーで化粧板をうかせて取りはずします。
(2) 前パネル固定ネジ2本をゆるめ、前パネルを手前に引き取りはずします。

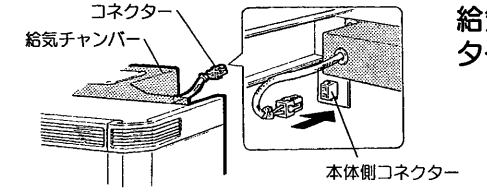
3



給気グリル・給気チャンバーを本体に取付けます。

付属のつまみネジ4本で図のように固定します。

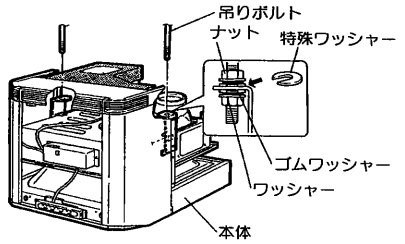
4



給気チャンバーから出ているコネクターを本体のコネクターに接続します。

―天井取付けの場合

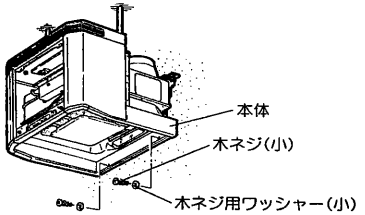
1



本体を吊りボルトで吊します。

(1) 外形寸法図を参照して、あらかじめ吊りボルトを埋め込み、市販のナット・ワッシャーと付属のゴムワッシャーを取付けておきます。
(2) 天吊金具の穴(2か所)を吊りボルトに通し、付属の特殊ワッシャーを差し込みます。
(3) 左図のように付属のゴムワッシャー、特殊ワッシャーおよび市販のワッシャー・ナットで固定します。

2

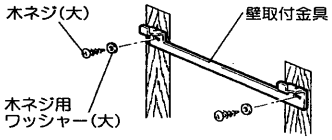


本体を固定します。

本体内部より壁面に向けて付属の木ネジ・木ネジ用ワッシャー(小・各2個)で本体を固定します。

―壁取付けの場合

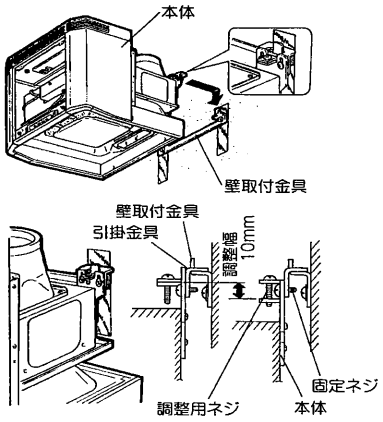
1



壁取付金具を取付けます。

付属の壁取付金具を付属の木ネジ・木ネジ用ワッシャー(大・各2個)で壁面に水平に取付けます。

2



本体を取付けます。

本体を壁取付金具に引掛け傾きの調整をします。

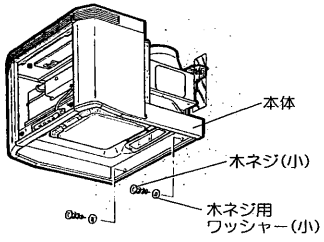
本体の傾きの調整

(1) 周囲の吊戸棚などの関係で本体に傾きがあった場合は、固定ネジ2本をゆるめ、調整用ネジで高い方を下げて調整します。
(調整用ネジ・固定ネジは左右にあります)
(2) 調整後、固定ネジをしっかり締め付け本体を固定します。

お願い

●ダクト接続口をはずしてから調整してください。

3

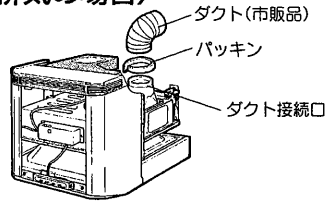


本体を固定します。

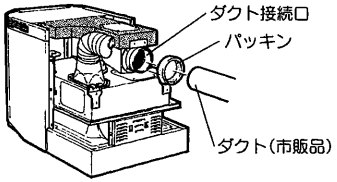
本体内部より壁面に向けて付属の木ネジ・木ネジ用ワッシャー(小・各2個)で本体を固定します。

ダクト工事

〈後部右排気の場合〉



〈後部左給気の場合〉



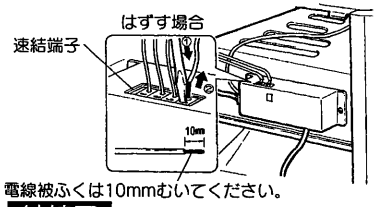
排気･給気ともダクト接続口に付属のパッキンを巻き付けダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングします。

お願い

●ダクト配管は接続口のすぐそばで、かたむきや曲げのないよう配管してください。
シャッターが完全に開かない場合があります。

電気工事

V-60FDQの場合

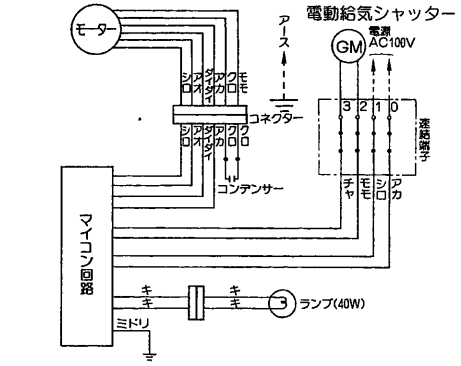


1.速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込みます。
2.アース端子を使用して必ず接地工事(アース)を実施してください。

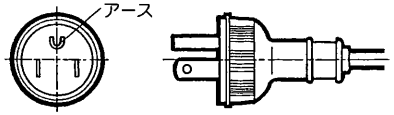
お願い

●より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
●結線を間違えますとファンが回らなかったり、風量切換スイッチが弱でも強の運転をすることがありますので間違いのないよう結線してください。
●電線被ふくは10mmむいてください。カバーにあるストリップゲージに合わせて、皮むきしますと便利です。
●電源コードは、本体付近で必ずコード押えを使用して固定してください。
●電源コードを速結端子のはずしボタン(赤色)を押しながら電源コードを引っ張ってはずしてください。

結線図　※破線部分の結線をしてください。



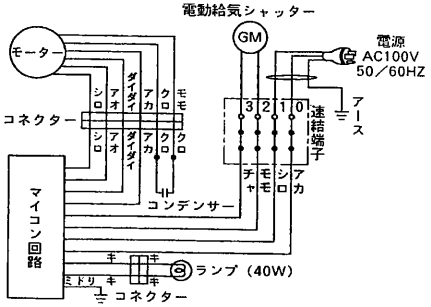
V-60FDQ-BLの場合



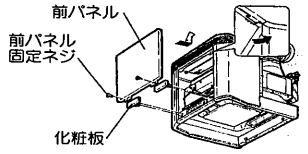
電源プラグをコンセントに差し込みます。

●電源コード先端には、小形接地15Aゴムキャッププラグ(125V)が付いていますので、同形のコンセントを取付けてください。

結線図



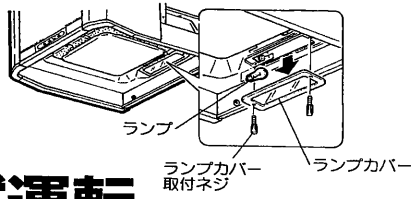
前パネルの取付け



1.前パネルをはめ込み、前パネル固定ネジ2本を締め付けます。

2.左右の化粧板を前パネルにはめ込みます。

ランプの取付け



1.本体内側からランプカバー取付ネジ2本をゆるめ、ランプカバーをはずします。

2.付属のランプ(100V、40W、口金径17mm)をソケットに差し込み取付けます。

3.ランプカバーを元通りに取付けます。

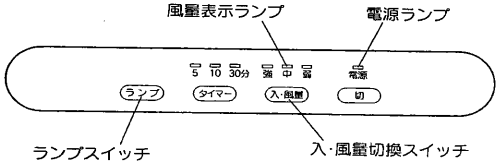
試運転

■取付工事が終わりましたら、次の確認をしてください。

⚠警告		ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切ってください。(感電することがあります)

1.本体はしっかりと固定されていますか?ランプはゆるんでいませんか?
2.接地工事(アース)は実施されていますか?

■電源プラグをコンセントに差し込むか電源を入れた後、次の確認をしてください。



1.電源プラグはしっかり差し込まれていますか?(V-60FDQ-BLのみ)
2.ランプスイッチを押すとランプが点灯しますか?
3.入･風量切換スイッチを押して風量が切換わりますか?
●電動給気シャッターが開きますか?
4.それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか?

■試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話0573-66-2111